

CASIO

DQD-202X

取扱説明書

保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

- 電波時計（国内2局対応）
福島県「おおいたかどや山標準電波送信所」（40kHz）
佐賀県と福岡県の境「はがね山標準電波送信所」（60kHz）
- 正確な時刻と月、日、曜日を表示
- 止めてから再び鳴り出すスヌーズアラーム
- 5段階で変化する電子音アラーム
- 音量切替（3段階）
- ライト付き

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
表示 内 容：現在時刻 = 時・分・秒 午後マーク / 24時間制表示(24H)	
月・日・曜日 / アラーム時刻	= 時・分
電波受信機能：自動受信（毎時1分*）、手動受信	
*条件により毎時1分と31分	
受信電波 = 長波標準電波 JJY	
周波数 = 40kHz / 60kHz	
精度	電波受信による時刻修正が行なえない場合は、 差 ±30秒以内
アラーム機能：セット単位 = 分 報知時間 = 1分間	
電子音アラーム (通常アラーム、スヌーズアラーム／全7回)	
音量切替（3段階）	
その他の他：ライト、12/24時間制表示切替	
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、CMOS-LSI	
使用 温 度：0～40°C	
使 用 電 池：単3形アルカリ乾電池（LR6）×2	
電 池 寿 命：約1年 (電子音1分間/日、ライト5秒間/日、 電波受信24回/日を使用した場合)	
※付属のモニタ用電池は「マンガン乾電池」 です。「マンガン乾電池」を使用された場合、 電池寿命は約7ヶ月となります。	
※新しい電池に交換する際は「アルカリ乾電池」 を使用することをおすすめします。	

各部の名称と表示の見方

- (表面)
- ①スヌーズ/ライトボタン
押すと約5秒間ライトが点灯します。
※アラーム報音中に押すと音が止まります。
 - ②アラーム時刻セットボタン
アラーム時刻（または現在時刻など）を合わせるときに使います。
 - ③アラームスイッチ
アラームON/OFF/スヌーズの切り替えができます。
 - ④音量スイッチ
アラームの音量を大(MAX)、中(MID)、小(MIN)の3段階で調整できます。
 - ⑤WAVEボタン
押すと電波受信を行ないます（手動受信）。
 - ⑥セットボタン
現在時刻などを合わせるときに使います。
 - ⑦リセットボタン
電池交換後、必ず押します。
 - ⑧受信電波切替スイッチ
受信する電波を選ぶことができます(40kHz↔60kHz)。

★表示の見方

※本機はデジタル表示部に「展示用シール」をつけて出荷していますので、ご使用の前に必ずこの「展示用シール」を取り外してください。

**電源について**

- 本機は単3形アルカリ乾電池を2本使用します。
- 乾電池はできるだけ「カシオ指定の電池」または同等品をご使用ください。
- 時計をご使用にならないときは、電池を取り外して保管してください。

お買い

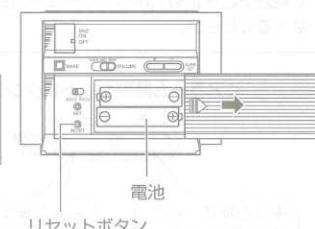
機種により付属の電池を製品に入れて出荷しております。この場合は、電池消耗を防ぐために、電池部分に「絶縁シート」をつけておりまますので、ご使用の前に必ずこの「絶縁シート」を抜き取ってください。

■電池交換のしかた

- (1)電池ブタを開け、古い電池を取り出します。
- (2)新しい電池の④号を間違えないようにして完全に押し込みます。
- (3)電池交換後リセットボタンを押します。
- (4)電池ブタを閉じます。

<ご注意>

- 電池の④号の向きは正しく入れてください。
- 電池が消耗しますと表示が「薄くなったり」「消えたり」します。このようなときは長時間放置せず、すみやかに新しい電池と交換してください。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- お買い上げ時に付属している電池はモニタ用電池のため、記載の電池寿命よりかなり短いものとなっています。
- *モニタ用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のこと、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとてください。
- ※電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。

**安全上のご注意****危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意**分解しないでください**

本機を分解しないでください。
ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

設置場所について

本機を不安定な場所に置いたり、不確実な掛け方をしないでください。倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所には置かないでください。火災の原因となることがあります。

警告**袋をかぶって遊ばないでください**

製品本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。窒息の原因となります。

電池の取り扱いについて

使用している電池を取り外した場合は、誤って電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、充電や分解、ショートする恐れのあることはしないでください。また、加熱したり火の中へ投入したりしないでください。

電池について

電池は使い方を誤ると液漏れによる周囲の汚損や、破裂による火災・ケガの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておいてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

電池の着脱を長く伸ばした爪で行なうと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。また、使用しないときは電池をはずしておいてください。

ご使用上の注意

- 本機は精密な電子部品で構成されていますので、「極端な温度条件下」、「強い磁気の当たる場所」、「はげしい振動のある場所」での使用や保管および「強いショック」をさせてください。
- 高温では電池寿命が短くなったり故障の原因になったりしますので、暖房器具の近くや直射日光のあたる所では使用しないでください。
- 浴室など湿気の多い場所では使用しないでください。
- 本機を分解しますと、精度や機能が低下しますので、絶対に分解しないでください。

●汚れは、「乾いた柔らかい布」か、「中性洗剤に浸し固しほった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

保証・アフターサービスについて**■保証書はよくお読みください**

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■保証期間は保証書に記載されています**■修理を依頼されるときは**

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときは次の処置をしてください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。

・保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。

・保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

■あらかじめご了承いただきたいこと

●「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。

また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただきます。

●仕様が日本国外向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後3年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するため不可欠な部品のことです。

■アフターサービスなどについておわかりにならないときはお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理いたします。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品と本書をお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションへご持参またはご送付ください。
3. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認ができる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - イ. お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
 - ロ. 誤用、乱用および取り扱い不注意による故障・損傷
 - ト. 電池の液漏れによる故障・損傷
 - チ. 本書の提示がない場合および本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。

※ この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

本機の使い方

本機が購入後初めて使用するとき、および電池交換後には、以下の手順で操作を行なってください。

※本項目と共に「電波時計について」を合わせてお読みください。

1 電池を入れます(「■電池交換のしかた」参照)

本機背面の電池ブタを開き、 \oplus/\ominus の向きに注意して、電池を正しく入れます。

2 受信する電波を選びます(「●電波の受信範囲の目安」参照)

受信電波切替スイッチをスライドさせて、受信する電波を選びます。

※本機をお使いになる場所に合わせて選んでください。

“40kHz”…福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所」からの電波(40kHz)を受信します。

“60kHz”…佐賀県と福岡県の境の「はがね山標準電波送信所」からの電波(60kHz)を受信します。

3 リセットボタンを押します(リセット操作)

本機背面のリセットボタンを押します。

→時刻表示が「午後 12:00」となります。

※電池交換を行なったあとは、必ずリセットボタンを押してください。

※リセット操作が終わったら電池ブタを閉じます。

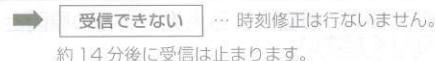
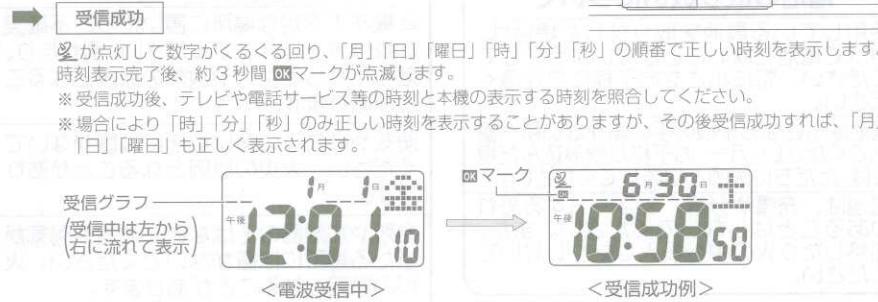
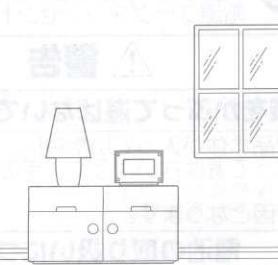
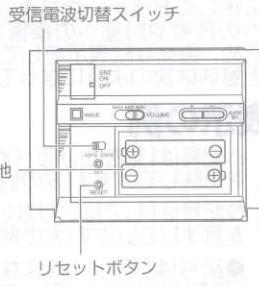
4 本機を使用したい場所に置きます

「午後12:01」になると、自動的に電波受信を開始して時刻修正を行ないますので、窓際などできるだけ電波受信しやすいところに置いてください。

※受信中は受信グラフが左から右に流れで表示されます。

※受信成功まで約9~14分かかります。

※受信中はボタン操作を行なわないでください。



約14分後に受信は止まります。
※このときは、本体の向きや置き場所を変えてWAVEボタンを押すか、セットボタンで時刻を合わせてからWAVEボタンを押して、もう一度受信開始させてください(「時刻の合わせ方」参照)。

※WAVEボタンを押さなくても「午後12:31」になると、再び自動受信を開始します。以後、受信成功するまで30分毎に自動受信を行ないます(最大36時間)。

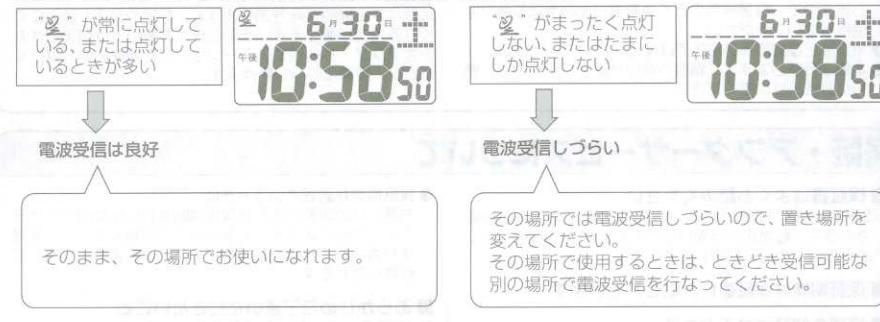
- WAVEボタンを押すと確認音が鳴り、電波受信を開始します。… 手動受信
- 置き場所を変えてでも受信できない場合は、受信電波(周波数)を切り替えてから、もう一度受信開始させてください。

※一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられていますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

受信できない場合でも、翌日に電波受信成功することもありますので、しばらくそのままにしておいてください。

5 1~2週間電波受信の様子を見ます

本機は、通常毎時1分(1日24回)に電波受信を自動的に行ないます。



時刻の合わせ方

電波受信により、時刻修正できないときに以下の操作を行なってください。

以下の操作で時刻を修正すると、修正後24時間は自動電波受信は行ないませんので、ご注意ください。

(1) 本機背面(電池ブタ内)のセットボタンを押すことに以下の順に表示が切り替わります。



<年セッティング表示>

2000

午後

10:5850

<12/24時間制切替表示>

12-H

午後

10:5850

<月・日セッティング表示>

6月30日

午後

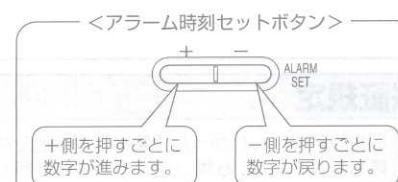
10:5850

<時刻セッティング表示>

6月30日

午後

10:5850



※それぞれ押し続けると早送り/戻しができます。

★年は1998年~2039年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

★<時刻セッティング表示>のときはボタンを押して分を進めた(戻した)タイミングで00秒になります。

★<12/24時間制切替表示>のときはボタンを押すことに、12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

(3) セットが終りましたら、セットボタンを押して<通常表示>に戻します。

※セット状態で表示を点滅したままにしておくと、約3分後自動的に<通常表示>に戻ります。

電波時計について

●電波時計とは

正確な時刻情報(日本標準時)をせた長波標準電波(JJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



日本標準時：日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

●標準電波

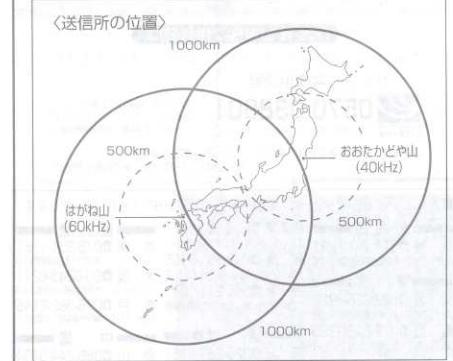
標準電波は独立行政法人通信総合研究所(CRL)が運用しており、福島県田村郡のおおたかどや山標準電波送信所(40kHz)および佐賀県と福岡県の境のはがね山標準電波送信所(60kHz)から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信中断されることがあります。

●電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。

また、受信範囲内であっても、季節や天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響などによって、受信できないことがあります。



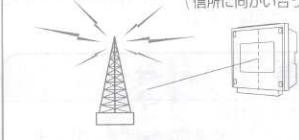
<正しく受信するためには>

○電波受信できる場所に置いてください(「使用場所について」参照)。

○本機を電波送信所方向に向けると、受信しやすくなります(本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるように置くと、最も受信しやすくなります)。

最も受信しやすい置き方

(時刻表示部または背面を電波送信所に向かって置く)



○受信中(受信グラフ表示中)にボタン操作をしないでください。なお、受信中にWAVEボタンを押すと、受信を中断します。

<ご注意>

○セットボタンを使って現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行ないません。ただし、この間にWAVEボタンを押して手動受信を行なうと、その時点で解除されます。

○アラームONでアラーム時刻を設定している時刻台での自動受信は行ないません(例:アラーム時刻=午前7時15分の時、午前7時1分の自動受信は行ないません)。

○電波障害により、誤った信号を受信することがあります。

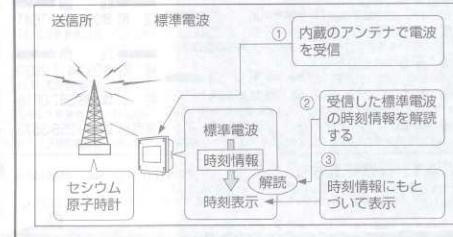
○電波受信を行なわない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。

●使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などに置くようにしてください。

以下のような場所では、電波受信しにくくなりますので、このような場所は避けて本機をお使いください。

●受信のしくみ



●電波受信について

本機は、通常毎時1分に電波受信を自動的に行ないます(条件により毎時1分と31分に行ないます)。

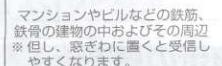
※1回の受信は約4~14分間(リセット直後は約9~14分間)です。

※受信に成功すると、数字がくるくるのり、「月」→「日」→「曜日」→「時」→「分」→「秒」の順番で正しい時刻を表示します。時刻表示完了後約3秒間OKマークが点滅します。

受信成功しますと、OKマークが点灯します。

OKマークは電波受信が成功しているかどうかの目安になります。

ただし、受信成功しても午前2時と午前3時になりますと一度消えます。その後受信成功すると、再び点灯継続します。



マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺



※ただし、窓ガラスに置くと受信しやすくなります。



乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)



家庭電化製品、OA機器のそば(パソコンなど)



電波障害の起きるところ(工事現場、空港のそば、交通量の多いところなど)



金属板の上、山の裏側など

アラームの使い方

あらかじめ設定した時刻になると、アラーム音が鳴り、同時にライトが点滅します。

なお、アラームスイッチの位置により、止めて繰り返し鳴るスヌーズアラームとして使うことができます。

●アラーム時刻の合わせ方

アラーム時刻セットボタンを使って、アラーム時刻を合わせることができます。

電波受信中はアラーム時刻を合わせることはできません。このようなときは、WAVEボタンを押して電波受信を止めてからアラーム時刻合わせを行なってください。

●アラームのON/OFF設定

本機背面のアラームスイッチの位置でアラームON/OFF/スヌーズが選べます。

アラームスイッチ	鳴り方
SNZ ((SNZ)) (())	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
ON (())	アラームセット時刻になるとアラーム音が1分間鳴ります。
OFF	アラームセット時刻になつてもアラーム音は鳴りません。

※アラーム音と同時にライトが点滅します。

※アラーム音は1分間5段階でだんだん変化します。

●鳴っているアラーム音を止めるには

・鳴っているアラーム音を止めるには、スヌーズ/ライトボタンを押します(スヌーズアラームのときは再び鳴ります)。

・スヌーズアラーム機能を解除するには、アラームスイッチを「OFF」にします。

●アラーム音量の調整

本機背面の音量スイッチで、アラームの音量を大(MAX)、中(MID)、小(MIN)の3段階で調整できます。



※それぞれ押し続けると早送り/戻しができます。